篠田桃紅美術空間からのお知らせ

関ゆかりの工芸作家展

郷土関市ゆかりの工芸美術作家たちを紹介する「関ゆかりの工芸作家」展を開催中です。今回展示作品の中から、代表的な作品をご紹介します。

◆**土屋順紀**《紋紗裂地「流」》…２０１０年に開催された「第30回全国豊かな海づくり大会」を記念し制作されました。長良川の清流が藍、緑、茶で表現されています。

◆**西功一**《練上海月文花生》…金太郎飴の手法を使った典型的な練上げの技法を使っています。緻密な設計に基づいて文様をつなぎ合わせ壺の形にします。黒地に白い文様が浮き立つ作品です。

◆**大坪重周**《三曲屏風「葡萄文」》…鳥取県出身で、晩年の４年間を関市で過ごしました。革工芸、布染色の作品を発表した作家です。鮮やかな色彩、大胆なデザインのこの作品は、第７回日展の出品作です。

◆**河合寿成**《寒月湖映》…鍛金、溶接などの技法を使っています。筒を斜めに切ることで、穏やかな夜の湖面にゆれる寒月を表現しています。

◆**吉田研**《刀 銘 濃州関吉田劔兼久》…２０１０年「第30回全国豊かな海づくり大会」の開催を記念して、長良川の砂鉄を使って作られています。

「関ゆかりの工芸作家展」
・会　期…8月26日(日)まで
・入館料…高校生以上３００円、中学生以下無料
・休館日…月曜日(7月16日(月・祝)を除く)、7月17日(火)
・開館時間…午前9時～午後4時30分
・照会先…篠田桃紅美術空間(市役所7階)☎23―７７５６

大坪 重周《三曲屏風「葡萄文」》

河合 寿成《寒月湖映》

女と男 ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会

vol.94 イクメンパパも子連れです

最近よく見かけるようになったのが、男性用トイレの中にチャイルドシートや赤ちゃん用オムツ交換台が置かれていることです。

数年前には、公共施設内で時々見かけることはありましたが、商業施設ではほとんど目にしなかったことです。今は家族連れ、それもイクメンパパが子連れという場面が非常に多くなりました。特に、家族でよく利用するショッピングモールやデパート、高速道路のサービスエリア、病院などの男性用トイレに、チャイルドシートやオムツ交換台が設置されることは大変ありがたいことです。事情があって、パパが子どもを連れてトイレに入ることもあるでしょう。ママとしてはどんなに助かることか、うれしい限りです。

「イクメン」という言葉だけが一人歩きしている感が多少ありますが、このように身近なところで少しずつ男性の育児環境が整備されていくことが望まれます。そうすることで「イクメン」という言葉が本当に理解され、父親参加の子育ても一層深まっていくことでしょう。

さんかくサポーター＜Ｊ＞

照会先 さんかくサポーター事務局（市民協働課内）☎ 23-6831